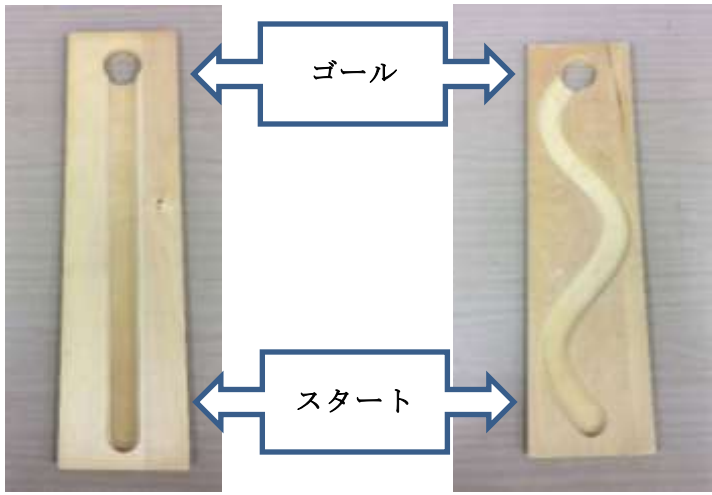


















ステップ1

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【1】明瞭に発音する
タイトル	頬のマッサージと舌の運動
目的	・頬の筋肉をほぐす。
身につけてほしい力	・意図的に舌を動かす練習をする。自分で動かし方を知る。
教材の概要	
材料	
作り方	
工夫点など	
画像	<p>①両手を頬に添え、上下に動かす</p> <p>②頬を前後させる</p> <p>③頬をぐるぐる回す</p> <p>④頬を③とは反対にぐるぐる回す</p> <p>⑤舌を出し入れする</p> <p>⑥舌を上下させる</p> <p>⑦舌を左右に動かす</p> <p>⑧舌で口周りをなぞる</p> <p>⑨おしまい！</p>
教材の使用法	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前で手本を示しながら取り組む。動画や模型（お面に舌をつけて動かす等）等で手本を示しても良い。 ・児童生徒が好きな曲に合わせて行う。 ・息を吹く練習や発音練習と併せて行うとより良い。 ・イメージが難しい際は、手を添えて練習をする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習の口形模倣や、発音模倣がスムーズにできる児童生徒が増えた。 ・舌の練習が難しい場合は、ミルクせんべい等、食べ物を使った練習もあります。（※アレルギー注意）児童生徒に合った取り組みを見つけてみてください。

ステップ2

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【1】明瞭に発音する
タイトル (教材名)	息の練習
目的 身につけてほしい力	・意図的に息を吹く練習をする。
教材の概要	
材料 作り方 工夫点など 画像	<div style="text-align: center;">  <p>直線バージョン 曲線バージョン</p> </div> <p>木の板に、ピンポン玉が落ちる大きさの穴を開け、転がる幅の溝を掘る。</p>
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 机から穴がはみ出す形で置く。穴の下には受け皿を置く。 ② ピンポン玉をスタート位置に置き、息を吹きかける。 ③ 息を吹いてピンポン玉を動かし、穴の中に落とす。 <ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたら、長く吹く、断続的に吹く、短く吹く、大きく吹く等、息の調整の練習を取り入れて行う。 ・頬のマッサージ、舌の運動、発音練習と併せて行うとより良い。
その他 (過去の実践より)	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ息の出し方のコツをつかみ、力強く息を吹くことができる児童生徒が増えました。 ・始点と終点が分かりやすく、ピンポン玉が落ちた時に音が鳴るので、達成感を味わいやすいようです。ゲーム感覚で楽しみながら取り組む児童生徒が多かったです。

ステップ3

大項目	②言語の受容と表出																								
小項目	【1】明瞭に発音する																								
タイトル	発音・口形練習																								
目的 身につけてほしい力	・主に母音と「ん」の発音を練習する。また、口形を模倣する。																								
教材の概要	<p>・動画編集ソフトを使って動画を作成（イラストと音楽を入れる）。</p>																								
材料 作り方 工夫点など	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">カラス</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ウマ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">タコ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ヤギ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>「かぁー (A)」</td> <td>「ひひーん (I-NN)」</td> <td>「う (U)」</td> <td>「めえー (E)」</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ライオン</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">フグ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">イヌ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">「がおー (A) (O)」(頬を膨らます) 「わん (A) (NN)」</td> </tr> </table>	カラス	ウマ	タコ	ヤギ					「かぁー (A)」	「ひひーん (I-NN)」	「う (U)」	「めえー (E)」	ライオン	フグ	イヌ						「がおー (A) (O)」(頬を膨らます) 「わん (A) (NN)」			
カラス	ウマ	タコ	ヤギ																						
																									
「かぁー (A)」	「ひひーん (I-NN)」	「う (U)」	「めえー (E)」																						
ライオン	フグ	イヌ																							
																									
「がおー (A) (O)」(頬を膨らます) 「わん (A) (NN)」																									
画像	 <p style="text-align: right;">家の中から 色々な動物が 出てきます</p>																								
	<p>* 基本は【家→動物→家→動物・・・】と同じ順番で映像が進む。</p>																								
教材の使用方法	<p>① 動画をテレビに映し出して、映像を見ながら取り組む。</p> <p>② イラストと指導者の手本（動物が出てきたら、鳴き声を真似する。例えばカラスが出てきたら「かぁー!」、馬が出てきたら「ひひーん!」等）を見て、口形や音声を模倣する。</p> <p>・頬のマッサージと舌の運動、息を吹く練習と併せて行うとより良い。</p>																								
その他 (過去の実践より)	<p>・楽しみにしている児童生徒が多く、動画が始まると、毎回嬉しそうに見ていました。</p> <p>・継続して取り組むことにより、模倣できる音声や口形が増えてきました。</p>																								